

手術

総特集

外科医の働き方改革を考える

【企画】

北川 雄光〔慶應義塾大学外科（一般・消化器）〕

わが国の医療は外科医の献身性により、長く支えられてきた。2024年4月から本格化する「医師の働き方改革」では、労働時間短縮および健康確保のための措置を講じることが求められている。

しかし、われわれは、労働環境の改善や医療・教育の質の担保など、働き方改革実現の妨げとなる多くの問題に直面している。そんな今だからこそ、そもそも外科医として働く意義を再考し、新しい時代に求められる外科医のあり方・取り組みについて、英知を結集する必要がある。

そこで、先進施設あるいは先駆者の先生からさまざまなテーマでのご執筆をいただく総特集を企画した。読者の先生方の一助となれば幸いである。



金原出版株式会社